

田和山の森から

9月の作業



しいたけ栽培地の作業



フェンス沿いの整備

○しいたけ栽培地の整備、○ハチクの伐採、○フェンス沿いの整備

9月の作業は、最初に先月に続きしいたけ栽培地の整備を行い完了しました。特に今月は、フェンス沿いの整備が中心でした。フェンスに絡みついているツタ類の撤去や周辺の雑草の刈り取り、竹の伐採等の作業で大変でしたが、東側下段の一部を残すだけとなりました。

スズメバチに注意！

市民から「森の展望台付近（1号墳周辺）に赤蜂が飛んでおり巣がありそうだ」と松江市へ連絡があり、市では現地を調査、巣は見つかりませんでした。展望台に近寄らないよう、近くへロープを張り進入禁止としました。この付近にはクヌギの大木があり、老朽化した根元に穴が開き、樹液が出ており、時々数匹の蜂が樹液を吸っています。作業中、たまに1・2匹見かけることがありますが、静かにやり過ごせば大丈夫です。夏から秋にかけて活動するので気を付けたいものです。万一刺されたら、近くの者に知らせ、直ぐに病院へ行きましょう。器具小屋に蜂用のZ噴射器があります。危険な場合は活用して下さい。また、巣らしいものが見つかったら直ぐに連絡下さい。



進入禁止のロープ



樹液の出るクヌギの根元

田和山サポートクラブイベント

○ 田和山収穫祭

日時：11月12日（土）10時から

場所：田和山館と周辺

※詳細は次号

田和山の樹木第33回 ゴンズイ

季節が進み10月になり田和山にも秋の風情が漂うようになってきました。紅葉を前に、目立つ樹木の一つがゴンズイです。葉ではなくその果実が目立ちます。ゴンズイの果実（正確に言うと袋果）は9～11月に赤く熟します。熟して裂けると、



光沢のある黒い種子が現れ、袋果の赤と種子の黒のコントラストが綺麗です。普段は目立たないが、葉が緑色の時季から果実が赤くなるため、初秋には人目を惹く樹木となります。

関東以西の本州、四国、九州及び南西諸島に分布するミツバウツギ科の落葉樹で、日当たりのよい低山の雑木林などで普通に自生し、田和山でも実をつけるゴンズイが数本あります。



葉は長さ4～9センチの小葉が5～9枚集まって羽状複葉（うじょうふくよう）で、小葉は細長い卵形で先端が尖り、晩秋には紫がかった色に紅葉します。

樹皮は紫色を帯びた黒色で、白く掠れた不規則な模様が入り、樹齢を重ねると縦に剥離しますが田和山のゴンズイは未だ若木です。

(竹下記)

今後の活動予定

10月7日（金）13：30～、15日（土）9：00～、21日（金）13：30～、28日（金）13：30～

11月4日（金）13：30～、11日（金）13：30～、19日（土）9：00～、25日（金）13：30～

